

## 2009 年度富士山測候所研究計画作成にあたっての注意事項

用紙は NPO のホームページからダウンロードしてください。本計画書は公募研究の採否を決定する審査資料として用いられます。下記の注意事項に従って記入してください。

### 注意事項

#### 1. 応募者氏名、所属、共同研究者、研究テーマ、研究の概要

日本語表記、および英語表記 (Full Name) の両方を記入してください。所属機関の名称などは省略しないようにしてください。

#### 2. 科学的意義と期待される成果、研究業績

(1)研究目的、(2)内外の関連研究の中での位置付け、(3)期待される成果、(4)社会への還元について具体的に記載してください。また、(5)富士山測候所を使うことのメリット、利用経験についても記載してください。研究業績には過去 5 年間の関連研究業績を新しいものから順に記載してください (学術論文については、著者名、論文タイトル、雑誌名、巻号、最初と最後のページ、発表年を、著書については、著者名、タイトル、出版社、発行年を記入のこと)。

#### 3. 研究方法 (実施方法)

山頂での研究実施方法を具体的に記述してください。使用する機材、消費電力、設置のための面積を該当欄に記入してください。

#### 4. 施設利用協力金の支出方法

施設利用の協力金として 1 題目あたり 10 万円を頂いています。安全管理、電源の維持、施設の維持などの経費の一部を負担していただくものです。また、山頂の生活にかかわる経費は各自の自己負担となっています (トイレ協力金、宿泊費など)。これらの経費の支出方法を具体的に記入してください (大学運営費、科学研究費補助金、私費など)。

#### 5. 安全管理体制、緊急連絡先

それぞれについて、具体的に記述してください。

また、環境庁、文化庁等の許認可が必要な場合は、その旨、安全管理体制欄に記述してください。なお、原則として、許認可は研究者が各自で取得していただくことになっています。

#### 6. 登山者リスト

予定を見込みでお書きください。

#### 7. 荷物リスト

荷上げ、荷下げの方法については、「ブルドーザー利用」「徒歩」などを記してください。

### 備考

研究実施直前までに登山する方の全員について、年齢、病歴、携帯番号を申告いただきます。これらの情報については厳重に管理し、事故、病気、遭難などの非常時のみに使用します。